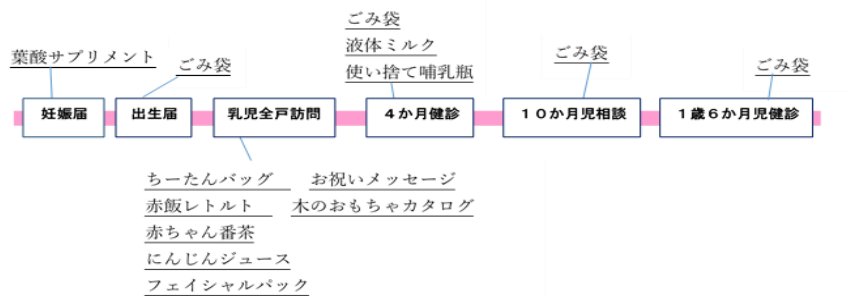


1 令和2年度地方創生推進プロジェクト

プロジェクト1																							
地域とともに出産や成長を喜ぶ仕組みや産前産後のサポートの充実																							
創生総合戦略 第2期	施策	施策1-1「結婚・出産・子育ての希望が叶うまちをつくる」																					
	手段	妊娠の希望を叶える支援や産前産後のサポートを充実させるとともに、地域を挙げて、新しい命の誕生をお祝いしていることを子育て世代が実感できる取組を増やす。																					
Plan（計画） 令和2年度		妊娠・出産・子育てを地域から応援されていると実感でき、この地域で子育てしたいと感じてもらう取組について、母親・赤ちゃんとの関りが深い健康福祉部健康課を中心とした地方創生推進プロジェクトとして、庁内検討委員会を設置し、検討を行いました。 検討過程では、創生総合戦略推進本部会議にて全庁的に協議したほか、創生総合戦略推進委員会で外部有識者の視点からご意見をいただきました。また、市民アンケートを実施し、子育て世代を中心とした市民の声を反映しました。																					
Do（実施） 令和3年度		<u>ハッピーバース応援ギフト事業</u>（実績 9,446 千円） 妊娠・出産・子育てを応援されていると実感でき、この地域で子育てしたいと感じてもらう取組として、妊娠期から2歳ごろまでに利用していただけるものを贈ります。 特に出産時のギフトは、「丹波市に生まれてくれてありがとう」の思いを込め、「丹波で生まれてよかった」と思っただけよう、できるだけ市内産品を活用し、市内事業所の活性化と、地域をあげて子育て応援する機運の醸成を図ります。 ●事業実施状況（3年度実績） <table border="1"> <thead> <tr> <th>時 期</th><th>ギフト</th><th>件数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊娠届出時</td><td>葉酸サプリメント</td><td>364</td></tr> <tr> <td>出生届出時</td><td>燃やすごみ袋小 4巻</td><td>353</td></tr> <tr> <td>赤ちゃん訪問時</td><td>木育製品（カタログ）他市内産品</td><td>353</td></tr> <tr> <td>4か月児健診時</td><td>燃やすごみ袋小6巻他液体ミルク等</td><td>342</td></tr> <tr> <td>10か月児相談時</td><td>燃やすごみ袋小 8巻</td><td>380</td></tr> <tr> <td>1歳6か月児健診時</td><td>燃やすごみ袋小 6巻</td><td>368</td></tr> </tbody> </table>	時 期	ギフト	件数	妊娠届出時	葉酸サプリメント	364	出生届出時	燃やすごみ袋小 4巻	353	赤ちゃん訪問時	木育製品（カタログ）他市内産品	353	4か月児健診時	燃やすごみ袋小6巻他液体ミルク等	342	10か月児相談時	燃やすごみ袋小 8巻	380	1歳6か月児健診時	燃やすごみ袋小 6巻	368
時 期	ギフト	件数																					
妊娠届出時	葉酸サプリメント	364																					
出生届出時	燃やすごみ袋小 4巻	353																					
赤ちゃん訪問時	木育製品（カタログ）他市内産品	353																					
4か月児健診時	燃やすごみ袋小6巻他液体ミルク等	342																					
10か月児相談時	燃やすごみ袋小 8巻	380																					
1歳6か月児健診時	燃やすごみ袋小 6巻	368																					

	●市民からの意見（アンケートより抜粋） ・ ゴミ袋は本数が減っても大きいサイズが良い ・ 丹波の名産や事業者が知れてうれしかった ・ 出産してよかった ・ より多くの人が丹波市で出産・育児をし、さらに手厚い支援につながるきっかけになればよい ・ 今後もこの事業を続けてほしい 妊娠確定前診察費への助成（実績 1,545 千円） 従来の妊婦健康診査費の対象にならない妊娠確定に至る診察費を助成することにより、すべての妊娠期における経済的な支援を実現し、子育てに優しいまち丹波市を推進します。 ●事業実施状況（3年度実績） 申請：232 件 平均 6,657 円（1,000 円～10,000 円） ※妊娠届出時に同時に申請される方が多く、届出時に申請されない場合は、情報提供、確認を行っています。 産前産後サポートの充実（実績 589 千円） 妊産婦が抱える悩みや不安、心身の不調に対し、専門職による相談・支援を行い、不安の軽減・解消を図ります。 ●事業実施状況（3年度実績） 実利用 132 件、延べ 199 件利用いただきました。産後ケアサービスでは利用していただける期間を延長し、4 人の方が利用されました。																					
Do（実施） 令和4年度	ハッピーバース応援ギフト事業（予算：11,575 千円） 【改善ポイント】 アンケート結果を受け、令和4年度からゴミ袋のサイズを変更しています。（令和3年度：小サイズ1巻／月→令和4年度：小サイズ1巻／月、中サイズ1巻／2か月） ●事業実施状況（12月末時点） <table><tr><th>時 期</th><th>ギフト</th><th>件数</th></tr><tr><td>妊娠届出時</td><td>葉酸サプリメント</td><td>254</td></tr><tr><td>出生届出時</td><td>燃やすごみ袋小2巻・中1巻</td><td>265</td></tr><tr><td>赤ちゃん訪問時</td><td>木育製品（カタログ）他市内産品</td><td>262</td></tr><tr><td>4か月児健診時</td><td>燃やすごみ袋小2巻・中2巻、液体ミルク等</td><td>239</td></tr><tr><td>10か月児相談時</td><td>燃やすごみ袋小2巻・中3巻</td><td>256</td></tr><tr><td>1歳6か月児健診時</td><td>燃やすごみ袋小2巻・中2巻</td><td>297</td></tr></table>	時 期	ギフト	件数	妊娠届出時	葉酸サプリメント	254	出生届出時	燃やすごみ袋小2巻・中1巻	265	赤ちゃん訪問時	木育製品（カタログ）他市内産品	262	4か月児健診時	燃やすごみ袋小2巻・中2巻、液体ミルク等	239	10か月児相談時	燃やすごみ袋小2巻・中3巻	256	1歳6か月児健診時	燃やすごみ袋小2巻・中2巻	297
時 期	ギフト	件数																				
妊娠届出時	葉酸サプリメント	254																				
出生届出時	燃やすごみ袋小2巻・中1巻	265																				
赤ちゃん訪問時	木育製品（カタログ）他市内産品	262																				
4か月児健診時	燃やすごみ袋小2巻・中2巻、液体ミルク等	239																				
10か月児相談時	燃やすごみ袋小2巻・中3巻	256																				
1歳6か月児健診時	燃やすごみ袋小2巻・中2巻	297																				

	<u>妊娠確定前診察費への助成</u> （予算：2,800 千円） ●事業実施状況（12 月末時点） 申請：170 件 平均 6,808 円（1,000 円～10,000 円） <u>産前産後サポートの充実</u> （予算：1,241 千円） ●事業実施状況（12 月末時点） 実利用 115 件、延べ 176 件、産後ケアサービスの期間延長分 9 件の利用がありました。
--	--



ハッピーバースバック イメージ

プロジェクト2		
子育て世代のニーズに適う公園の整備に向けた公園整備方針の策定		
創生総合戦略 第2期	施策	施策1－2「みんなで子育てを応援するまちをつくる」
	手段	子どもにとって、本市で暮らす豊かさ（自然体験・遊び、心地の良い場）が実感できる場（まちのサードプレイス）を充実させる。
Plan（計画） 令和2年度	人口減少に対する子育て支援・地域活性化策として、また、観光・交流の賑わい拠点づくりとして、市内公園の充実を図るため、地方創生推進プロジェクトとして、それぞれの公園の特色を活かした整備について検討を行いました。 策定過程では、創生総合戦略推進本部・関係課長会議で内部協議を進めたほか、創生総合戦略推進委員会で外部有識者の視点から協議いただきました。市民アンケート、市議会総務文教常任委員会・議員総会など、各方面から意見をいただき、策定しました。	
Do（実施） 令和3年度	<u>都市・自然環境を活かした公園整備方針に基づく公園整備</u> 令和3年2月に策定した方針に基づき市内公園の整備を進めます。 ●令和3年度実施事業 <u>道の駅丹波おばあちゃんの里</u>（遊具の設置 21,513 千円） 「ナウマンゾウ（七日市遺跡）をモチーフにしたユニバーサルデザイン遊具1基」と「恐竜をモチーフにした遊具1基」を設置し、3月26日の道の駅リニューアルオープンに合わせて使用を開始しました。 <u>青垣児童公園</u>（遊具更新工事 2,783 千円） 公園内の老朽化した遊具2基を撤去し、新たに複合遊具1基と安全サイン1基を設置しました。 <u>青垣総合運動公園</u>（遊具新設工事 2,189 千円） 子ども向け遊具がなかったことから、公園機能の強化を図るため、複合遊具1基を新設しました。 <u>春日総合運動公園</u>（遊具更新工事 3,179 千円） 出合いの広場内の老朽化した遊具2基の更新を行いました。 <u>三ツ塚児童公園</u>（遊具修繕工事 1,188 千円） 老朽化していた木製大型複合遊具の修繕を行いました。	

Do（実施）
令和4年度

●令和4年度実施事業

【完了した事業】

氷上さくら公園（展望台の改修 実績：9,009千円）

公園の利便性向上のため、展望台の改修工事により安全対策を行い、11月に工事が完成しました。

春日総合運動公園（遊具の更新 実績：5,606千円）

ふれあい広場内の老朽化した遊具を撤去し、新たに複合遊具1基を設置しました。9月に工事が完成しました。

新たに設置した春日総合運動公園の
複合遊具



【現在実施している事業】

道の駅おばあちゃんの里（トイレの新設・整備 予算：47,634千円）

既存トイレをリニューアルし、公園・遊具に近い場所に親子トイレを新設することで、家族連れで訪れやすい環境を整備するため、現在工事を行っています。

4月から12月の道の駅のレジ通過客数は325,000人で、昨年度同時期と比較すると136%となり、多くの方に利用いただいています。

水分れ公園（こどもひろば整備工事等 予算：49,842千円）

誰もが安心して利用できる環境を整備するため、人工滝ポンプ場、こどもひろば、トイレの整備工事を行っています。人工滝ポンプ場は令和5年度引き続き工事を行います。

今出川親水公園（トイレ整備工事 予算：5,196千円）

トイレの整備工事と備品購入により、快適に滞在できる環境を整備し、利用促進を図ります。現在、工事を行っています。

三ツ塚児童公園（大型複合遊具の修繕 予算：1,274千円）

老朽化した大型複合遊具の修繕を行い、令和5年2月に工事が完成する予定です。

山南中央公園（実施設計業務 予算：30,000千円）

山南中央公園機能移転にあたり、令和5年度に工事着手する範囲の実施設計業務を行っています。

青垣児童公園（実施設計業務 予算：8,000千円）

青垣住民センター別館跡地を利用した公園の拡張整備工事に向けた実施設計業務を行っています。

プロジェクト3		
仕事と子育ての両立を応援する取組の検討（病児保育のあり方）		
合戦略 第2期創生総	施策	施策2-2「多様な働き方・働きやすい職場をつくる」
	手段	子育て世代が働きやすい環境をつくるため、認定こども園全園の病児保育実施と、小児科診療と連携した病児保育拠点の整備を実現する。
Plan（計画） 令和2年度		ひとり親家庭、核家族が増えていくなか、仕事と子育ての両立を支援するため、病児の受入れ体制を整備します。 現在、市内の認定こども園13園中、病児保育（体調不良時型）は11園が実施していますが、インフルエンザ等に罹患した病児を受け入れる体制は整っておりません。 検討経過では、他市の状況調査を行ったほか、8月には子育て世代を中心としたアンケートを実施しました。
Do（実施） 令和3年度		<u>病児保育（病後児対応型）保育室の開所</u>（実績 1,992千円） 対 象：乳幼児から小学生までの子ども 内 容：疾病にかかり集団生活が困難と判断された子どもを一時的に預かる病後児保育室を開所します。 定 員：3名 職員配置：看護師1名、保育士1名 ●令和3年度事業実施状況 NPO 法人により令和4年3月1日から1か所運営を開始しました。運営を支援することで、安定した事業の継続を図り、加えて仕事と子育ての両立ができる環境を整えました。現在、利用登録者数4人、利用実績はまだありません。 <u>病児保育（体調不良児対応型）の充実</u>（実績 47,060千円） 対象施設：13か所（令和4年1月から2か所増設） 全ての認定こども園13園において看護師を配置。 内 容：通園児が体調不良になった時、保護者が迎えに来るまでの間、安心して預けられる環境を整えます。 ●令和3年度事業実施状況 市内認定こども園13園中、11園において実施しておりました病児保育（体調不良児対応型）を令和4年1月から13園全てにおいて実施しています。（追加：認定こども園ぬぬぎ、認定こども園かすが森の子園）

Do（実施） 令和4年度	<u>病児保育（病後児対応型）保育室の運営支援</u>（予算：10,800千円） <u>病児保育（病後児対応型）保育室の低所得世帯利用料の減免</u>（予算：300千円） ●事業実施状況（12月末時点） 利用登録者数25人、利用実績はまだありません。 <u>病児保育（体調不良児対応型）の充実</u>（予算：58,747千円） ●事業実施状況（12月末時点） 4月当初、市内認定こども園全園（13園）において実施していましたが、2園において看護師不在となり、11園での実施となっています。現在、社会福祉法人にて看護師を募集しています。
-------------------------	--

2 令和3年度地方創生推進プロジェクト

プロジェクト4		
子育て世代が働きやすい環境整備の検討		
第2期創生総合戦略	施策	施策2-2「多様な働き方・働きやすい職場をつくる」
	手段	子育て世代が働きやすい環境をつくるため、認定こども園全園の病児保育実施と、小児科診療と連携した病児保育拠点の整備を実現するとともに、子育て世代が安心して子どもを産み育てられると実感できるよう、市内企業に働きかけ、子育てしやすい就労環境づくりを進める。
Plan（計画） 令和3年度		令和2年度プロジェクト「病児保育のあり方検討」の協議の中で、推進委員会等から「病気の時には本当は子どものそばに居たい、本当は無理して保育園に預けたいとは思っていないことを理解してほしい」という意見がありました。 子育て世代が出産や子育てを行う中で、事業所の人手不足などにより、産前・産後に休暇を取得しにくかったり、子どもの学校行事や急な病気の時などに休みにくかったりすることがあります。また、休暇を取りやすいようパート勤務など低賃金な職種を選ぶことにより、不安定な就労・生活環境になることから、第2子、3子の出産が難しいといった現状があります。 そこで、市内企業への訪問や働きかけにより、子育てしやすい就労環境づくりに取組みます。
Do（実施） 令和4年度		① 中小企業支援ハンドブック（事業者向け）の中に事業者に知っておいてもらいたい子育て支援施策についてのページを掲載することで、事業者にも子育て支援施策の周知を図ります。（令和5年当初配付予定） ② 令和4年度に発行する企業ガイドブックの中に各企業における「働きやすい職場づくりへの取り組み」を掲載します。 ③ 国制度で職業生活と家庭生活が両立できる“職場環境づくり”の支援として、「両立支援等助成金」があります。（事業主に支給）この補助を受けている事業者に対して市からの上乗せ補助を支給しているが、新たな取り組みとして「両立支援等助成金」に必要な手続きに係る費用（社会保険労務士への費用）の助成を加えます。 12月末現在、申請は1件となっています。 （予算：500千円）

プロジェクト5		
ふるさと移住の促進に向けた移住施策の再構築		
第2期創生総合戦略	施策	施策3-1「人と人のつながりをつくる」
	手段1	住まい・仕事・コミュニティ・交流など移住に必要な情報がまとまった窓口や、お試し移住やお試しテレワークなどのニーズと、民泊などのコミュニティ型宿泊支援とのマッチングを図る仕組みづくりなど、移住支援の充実を図る。
	手段2	子育て世代の移住や新婚世帯の定住など、ライフステージの移住・定住支障事例を集め、それに対応した子育て世代移住支援パッケージをつくる。
Plan（計画） 令和3年度	丹波市の人口減少対策にとって、10代後半から20代前半にかけての大きな人口移動がポイントであり、この年代のライフステージのニーズをきめ細やかに捉えたうえで、分野横断的に施策展開する必要性が高まっています。 「子どもたちに帰ってこいよと言えるまちづくり」に向け、関係課長等で構成するふるさと移住促進施策検討会を設置し、住まい・仕事・地域活性・観光・教育などの分野を横断的に捉えた移住促進施策について検討を進めます。検討に当たっては、人口移動調査を実施し、その属性や移動時の状況を明らかにし、移住促進施策に役立てます。 検討経過 令和3年5月20日 第1回ふるさと移住促進施策検討会 ・人口移動に係る転入出者アンケート調査について検討するとともに、方針の構成及び施策体系について協議 令和3年6月7日～6月20日 人口移動調査 ・令和2年度の転入出者を対象に、無作為抽出した転入出者合計1,000人に対しアンケート調査を実施 令和3年7月15日 第2回ふるさと移住促進施策検討会 ・人口移動調査結果の概要を説明するとともに、ふるさと移住促進方針の構成（案）や各施策の取組（案）について協議 令和3年9月13日 総務文教常任委員会 ・地方創生推進プロジェクトの進捗を報告し、参考資料として人口移動調査結果報告書を提出 令和3年9月30日 第3回ふるさと移住促進施策検討会 ・ふるさと移住促進方針（案）の内容を検討	

	令和3年11月1日 第2回丹（まごころ）の里創生推進本部 ・丹波市ふるさと移住促進方針（案）の中間報告をとりまとめ 令和3年12月16日 総務文教常任委員会 ・丹波市ふるさと移住促進方針の検討状況について中間報告 令和4年2月4日 第3回丹（まごころ）の里創生推進本部 ・丹波市ふるさと移住促進方針の決定
Do（実施） 令和4年度	令和4年度は、丹波市ふるさと移住促進方針に基づき、次の各取組を実施します。 <u>ふるさと就職奨励金</u>（予算：7,500千円） 対 象：令和4年4月1日以降に市内企業に就職した新規学卒者 内 容：就職時に5万円、1年経過後に5万円の計10万円を給付します。 ●事業実施状況（12月末時点） 127件の申請があり、交付総額は6,350,000円となっています。 <u>若者定住奨励金</u>（予算：25,000千円） 対 象：18歳以上30歳未満の市内転入者で、起業または市内外の事業所に正規雇用され、6か月以上継続して市内に居住し、かつ6か月以上継続して勤務する者 内 容：市内に転入し就職等を6か月継続した時点で10万円を給付します。 ●事業実施状況（12月末時点） 18件の申請があり、交付総額は1,800,000円となっています。 <u>U・Iターン者等福祉人材支援補助金</u>（予算：2,500千円[12月補正]） 対 象：丹波市在住の64歳以下の者のうち、福祉事業所に正規職員等として雇用された者 内 容：（就職奨励金）就職時5万円 （継続奨励金）就業後12か月経過時点5万円 （資格取得費用）福祉資格取得に要した経費10万円 （引越費用）市外からの引越しに要した経費10万円 ●事業実施状況（12月末時点） 就職奨励金に24件、引越費用に4件の申請があり、交付総額は1,553,900円となっています。

	<u>その他実施事業</u> ・アパート版住まいのバンクの実施【10月から実施】 ・お試し移住支援制度の導入（予算：1,000千円）【募集中】 ・企業ガイドブックのWebブック化（予算：462千円） ・Bizステーションたんばの機能拡充（予算：13,020千円） ・歌道谷公共用多目的用地の事業用地化（実績：1,482千円） ・情報発信の強化による意欲ある農業人材の確保 (実績：8,996千円) ・子育てに関するポータルサイトのリニューアル (実績：4,888千円) ・多様な働き方支援や働きやすい職場づくりの促進（プロジェクト4の再掲）（予算：500千円） ・地域資源を活用した特徴のある公園整備（プロジェクト2の再掲）（予算：156,561千円） ・地域おこし協力隊を活用した大学のフィールドワーク活性化【令和5年4月から活動予定】
--	--

3 令和4年度地方創生推進プロジェクト

プロジェクト6		
地域を支える福祉人材の確保・育成・定着に向けた方策の検討		
戦略 第2期創生総合	施策	施策2-1「魅力的なしごとをつくる」
	手段	キャリア教育を実施し、子ども・学生時代に市内企業を知ること、市内での就職について考える機会をつくるとともに、不足する地域産業の担い手を確保・育成する。
Plan（計画） 令和4年度		全国的に人口減少社会がもたらす現役世代の減少に伴って、今後は高齢者介護や保育等の福祉人材の確保が非常に困難な状況となります。 市内では人材が確保できないことから一部のサービスにおいて利用を制限せざるを得ない状況も生じています。 市では、福祉人材確保対策として3つの補助制度を実施してきましたが、制度を活用した人材確保実績が少なく、その効果も顕著に現れていない現状です。 福祉人材の確保は、経営基盤の「要」であり、特に介護や保育等の分野を中心に量的拡大が求められているため、現行の補助制度を拡充するとともに、市内の女性や有資格者に限定することなく、市外からのU・Iターン者や無資格者を含めて、本市の福祉を支えるために必要な人材の「確保」「育成」「定着」に向けて、実効性があり、かつ移住定住施策と連携しながら丹波市版の取組方策の検討を進めます。 【分野横断的な共通の課題】 ・介護及び障がいに係る施設や事業所の安定的な運営 ・認定こども園及びアフタースクールの安定的な運営 ・移住定住の促進、「丹（まごころ）ワークサポートたんば」との連携 令和4年度に「丹波市福祉人材確保各課連絡会議（庁内会議）」、「丹波市福祉人材確保対策会議（庁外機関）」を立ち上げ、福祉人材確保についての横断的な検討を行い、福祉人材確保に関する事業の安定的な運営推進を図ります。検討後、即時取り掛かることができる事業については、取組を進めていきます。

	【検討経過】 令和4年7月5日 福祉人材確保各課連絡会議 令和4年8月5日 福祉人材確保対策会議 ・市の福祉人材確保対策の現状について説明するとともに、地域を支える福祉人材の確保・育成・定着に向けた取組方策の検討について協議 令和4年10月26日 福祉人材確保各課連絡会議 ・8月に行われた福祉人材確保対策会議の報告と福祉事業所への実態調査（アンケート）について説明し、福祉人材の確保について協議 令和4年11月28日 福祉人材確保対策会議 ・福祉人材確保対策に係る体系表の再構成と取組方策の検討に対する法人・事務所の人材マネジメントの状況調査について検討 令和4年12月 福祉事業所等実態調査 ・市内の福祉事業者を対象に、福祉人材の確保・育成・定着に向けた取組の現状について調査。令和4年度中に調査の集約を行い、事業所側の実態を分析する
Do（実施予定） 令和5年度	令和5年度は、庁内会議・庁外会議を開催し、令和6年度に向けて引き続き福祉人材確保についての横断的な検討を行い、将来を見据えた事業の安定的な運営推進を図ります。 ・既存の福祉人材対策に関する補助制度の検討及び見直し ・福祉人材の確保対策に係る体系表に基づき、実施主体による取組方策の具体的な進め方の検討 ・離職防止のための処遇の改善や生産性向上の取組について検討 ・福祉事業所と求職者を結ぶ紹介支援事業の取組について研究

今後のスケジュール

2月	福祉人材確保各課連絡会議（庁内会議）
3月	福祉人材確保各課連絡会議（庁内会議）
4月	福祉人材確保対策会議（庁外会議）
5月	福祉人材確保各課連絡会議（庁内会議）

プロジェクト7		
小・中学校と高校とのふるさと教育の連携と丹波市ならではのフィールドを活かした教育の実践		
第2期創生総合戦略	施策	施策3-1「人と人のつながりをつくる」
	手段4	高等学校と、地域課題を一緒に見つめ、解決策を導き出す教育活動を協働とともに、本市で過ごす子ども時代を通じて本市に愛着と誇りを持つ取組を進める。
Plan（計画） 令和4年度		市内小学校では、コロナ禍においても、学校支援コーディネーターを中心に地域人材による学習や生活への積極的な支援を推進し、「たんばふるさと学」を通じて、子どもたちのふるさと丹波を愛する意識の醸成を目指しています。 市内7中学校では、キャリア教育の一環として、地域資源を活用したアントレプレナーシップ教育を実施しており、「起業家精神」「起業家的資質・能力」の育成を目指しています。また、市内県立3高等学校は、それぞれの特色や規模に応じて地域課題等を題材にした探究活動を実施し、取組の成果等を学校内外に向けて発信しています。これらの取組が深い学びにつながるよう、義務教育期間から高校への連続した学びについて検討を行います。また、丹波竜化石・水分れ・氷上回廊など丹波市ならではの地域の教育資源や人材を活かした学びの充実により、地域に誇りをもち、将来丹波市を離れてもふるさとと関わりたいと、ふるさと丹波市への愛着を育む取組について検討します。 【令和4年度の取組】 ・<u>ふるさとへの誇りと愛着を育む教育に係る丹波市中高連携事業（7月開催）</u> 各高等学校3年生が出身中学校に出向き、中学2年生を対象に自分たちが学んできた探究授業のプレゼンテーション及び学校紹介を行いました。高校生から直接話を聞き、学習内容を交流することにより、相互のキャリア形成並びにふるさと意識の醸成につながりました。 令和4年7月14日 氷上中学校にて実施 令和4年7月19日 氷上中学校以外の6校にて実施 ・<u>「竜学」の実施</u> 市内小学生（希望者）が「こども恐竜大使」として丹波市と同じように恐竜化石が発掘された市町を訪問し、現地学習を行いました。訪問先の小学生との交流学习を通して、双方の学びを深めることができました。また、12月4日に開催された「丹波竜フェスタ」にて報告会を開催し、学習の成果を市

	民に広く発表しました。 実施日：令和4年10月8日～10月10日 訪問先：徳島県勝浦町 ・「たんばふるさと学」推進事業 ふるさとへの愛着と誇りを持ち、ふるさとに関わろうとする意識と態度の醸成を図ることを目的に、ゲストティーチャーを招いた体験活動や講義を行いました。（対象：小学生） また、「ふるさと教育展示会」を開催し、各小学校がフィールド学習で学んだ成果物を展示しました。 展示期間：令和4年11月26日～12月9日 展示場所：山南住民センター 展示内容：「丹波竜の取組」について （令和5年2月15日～3月12日 水分れフィールドミュージアムにて開催予定） ・「STGs（Sustainable Tamba city Goals）ゲーム」の検討 丹波市を持続可能なまちとして次世代へつなぐため、持続可能な開発目標（SDGs）への参加意識や当事者意識を育て、日常生活においてSDGsに取り組むきっかけとするため、丹波市オリジナルの学習教材の作成を検討します。令和4年度は、検討会立ち上げに向けて準備を行っています。
Do（実施予定） 令和5年度	① 「STGs（Sustainable Tamba city Goals）ゲーム」の作成 丹波市を持続可能なまちとして次世代へつなぐため、SDGsについて楽しみながら学べる丹波市オリジナルのSDGs学習カードゲームを作成します。作成にあたっては、市内高校とも連携し、丹波市特有の自然環境や農作物、伝統文化などを取り入れながら、ふるさとへの愛着を育成します。 まずは、中学校2年生を対象とし、トライやるウィークでの事業所体験活動の事前学習として活用し、より深い学びにつなげます。 ② ふるさとへの誇りと愛着を育む教育に係る丹波市中高連携事業 ③ 交流学習「竜学」の実施（10～11月実施予定）